

文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）」に福島大学から2件のプログラムが採択されました（全国488校939件申請中、本学を含む120校148件が採択）

「質の高い大学教育推進プログラム（教育GP）」は、大学設置基準等の改正等への積極的な対応を前提に、各大学・短期大学・高等専門学校から申請された、教育の質の向上につながる教育取組の中から特に優れたものを選定し、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支援を行うことにより、我が国全体としての高等教育の質の保証、国際競争力の強化に資することを目的としています。

平成20年度は、全国の国公私立大学・短期大学・高等専門学校から488校939件の申請があり、120校148件のプログラムが採択されました。

本学からは「教育方法の工夫改善を主とする取組」の区分で、2件のプログラムが採択されました。採択されたプログラムは下記の通りです。

1)「産直屋台いなGO・街と農村を繋ぐ地域企業」(取組担当者：経済経営学類 小山良太准教授)

(取組の概要)

本取組の目的は、地域の社会経済ニーズを地方国立大学の使命として受け止め、その実現を具体化する仕組みをつくり、その地域経済振興戦略の策定過程において福島大学経済経営学類の経済・経営・会計の教育課程を融合させた教育方法を構築し、実践的な経済・経営・会計教育の実現とそこへの学生参画を恒常化させる仕組みをつくることであり、これらを通して、地域社会に即応し、地域の産業や新たな経済システムの創造に寄与しうる人材を育成していくことにあります。すでに試行的実績を持つ、南会津町伊南地区での産直屋台「いなGO」等を本格的に実施することにより、目的の達成を図ります。

ネットワーク型地域づくりは、農村振興と地方都市の中心市街地振興を結合させた取組(1次産業+2次産業+3次産業=6次産業)であり、その中心に学生参画型「地域企業=起業」(アンテナショップ産直屋台いなGO)を位置づけ、学生に対しては参画・実践型の経済・経営・会計教育を実施します。

2)「科学的理解の深化を促す地域連携型理工教育」(取組担当者：共生システム理工学類 山口克彦准教授)

(取組の概要)

本事業は、他者に「伝える」という主体的な行動を取り入れることにより、受動的な知識吸収型の学習スタイルからの脱却を図り、地域の4つの科学館(福島市「こむこむ」、郡山市「スペースパーク」、須賀川市「ムシテックワールド」、北塩原村「磐梯山噴火記念館」との緊密な連携を通して、学生の学習レベルを大きく向上させていく教育プログラムを構築するものです。すなわち、科学館で科学教室を行うことを達成目標に掲げ、学生が理工系の知識を活用したデザイン・ものづくり・解析の能力、科学的コミュニケーション能力、自発的・自律的な活動を行う積極性と社会性などを培うことを目指します。同時に地域の子どもたちの理数系教育レベルを向上させるきっかけを作り、科学教室の多様化による科学館の活性化を図る、などの地域貢献としても位置づけます。

(お問い合わせ)

福島大学企画総括グループ

TEL: 024-548-8017